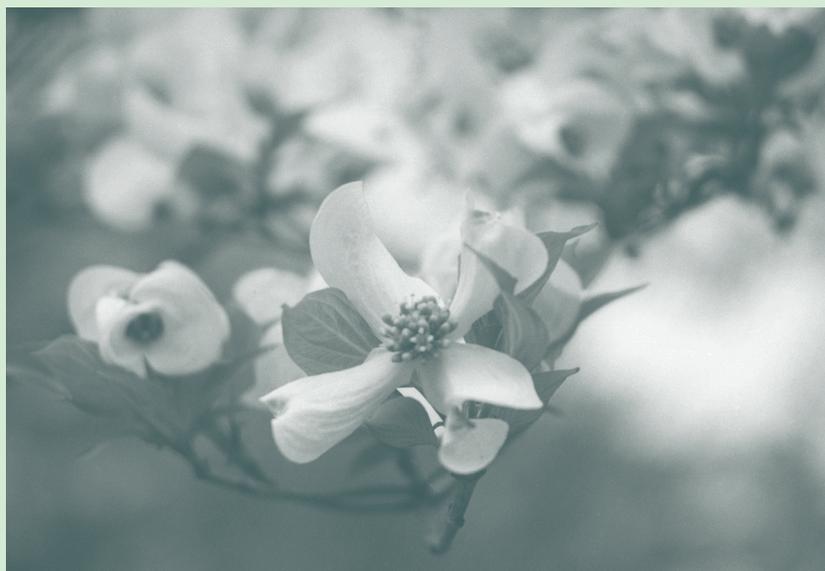


わたしの光のいえ”
ピースハウスふれんず”

September 2011

Issue Number 17



ごあいさつ	3
ピースハウスの役割	4
ピースハウスを利用する	5
ホスピス教育研究所の活動	10
ピースハウスを支える活動	12
収支報告	13
入退院状況	14
施設内容とスタッフ	14
ホスピスケアを受けるために	15



シンボルツリー：花水木

ごあいさつ

ライフ・プランニング・センターが設立されたのは1973年4月、そして20年後の1993年9月にピースハウス病院が誕生しましたから、今日まで財団は38年、ピースハウスはほぼ20年の歴史を刻んできたこととなります。

当財団が設立時に掲げた「一人ひとりがその生涯をよりよく生きるために」というポリシーを実現するためには、主として千代田区平河町の健康教育サービスセンターで行ってきた医療専門職や一般人への教育活動と、港区三田のライフ・プランニング・クリニックでの健診・診療に加え、人生の終わりを穏やかに迎えるためのホスピスケアを提供することが不可欠だと考えてきました。シシリー・ソングラス医師が、英国のロンドン郊外のシデナムにセント・クリストファーズ・ホスピスを作られたのは1967年のことでしたが、その6年後に設立した当財団にあっても、「自分の健康は自分の責任で守る」ために、「プライマリ・ケア」を重視し、また医師やナース、その他の医療担当者に患者やその家族、およびボランティアまでも包含した「チーム医療」を推進し、さらに「在宅医療」「在宅ケア」の実践へと一連の路線にのっとりその活動を進めてきました。ピースハウス病院を核にしたホスピスあるいはホスピスケアを具現化するにあたっては、1973年以来の20年にわたる財団の活動が根を張って、それを支えてきたからです。そして、今日ではそれらが一つとなってまた新たな歩みを踏み出しています。

20年近く前に神奈川県中井町に開設したピースハウス病院は、教育研究所、訪問看護ステーションに加え、2010年4月1日から「ピースクリニック中井」が永山淳院長によって在宅訪問診療を開始しました。それに伴って、地域にピースハウス病院や訪問看護ステーションの働きも多面的・複合的に展開され始めています。また、ホスピス教育研究所で開催されるホスピス国際ワークショップをはじめ、セミナーや各種講座でも、ホスピストータルケアの視点が欠かせないものとなっています。

2011年3月11日の東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故は、日本を未曾有の窮地に陥れています。私たちは復興への願いを胸に日々の活動をつづけていきますが、ケアの現場では一日として同じ日が繰り返されることはありません。その日々の積み重ねによって20年後の今日の姿があり、そしてまたこれから先の歩みがあることを覚えていただきたいと思います。

一般財団法人ライフ・プランニング・センター
理事長 日野原 重明

ピースハウスの役割

理念と基本方針

ピースハウス病院

理念

ピースハウスはやすらぎの家である。ここで時を共にする人は皆それぞれの生き方を尊重する。

基本方針

1. 患者が、痛みなどの心身の不快な症状の緩和を得て、穏やかに生きてゆくことができるように全人的ホスピスケアを提供する。
2. 愛する人を失う悲しみやその他の心身の反応は自然なことと考えて、かかわりを持ち始めたときから死別の後にいたるまで患者の家族を支援する。
3. 多職種の職員とボランティアがチームを構成し、互いに協力してケアを提供する。
4. 日本の実状に即したホスピスのモデルとして、より良いケアの実践、研究、教育を進める。

2009年4月1日改訂

ピースハウスの役割

がん対策基本法施行後、がん治療に携わる医師の緩和ケア研修が進められるにつれ、差し迫ってからの紹介が増えてきたように思います。ピースハウスのみならず、多くの緩和ケア病棟においても平均在院日数短縮傾向が認められるそうです。

ピースハウスはこの18年間、専ら終末期にあると考えられる方々にケアを提供してきましたが、早期からの緩和ケアを提供するということで、積極的治療を続けようかやめようか悩む頃にかかわり始めることが多くなるものと思います。

ややもすると苦しみ、痛みの身体的側面に目を奪われ、それへの対処に終始しがちですが、ホスピスケアの原点に立ち返り、日常家庭生活の観点から精神心理的側面、社会的側面に配慮すると同時に、魂の問題に対する思慮を欠かさないようにしたいものです。

院長 西立野 研二

ピースハウスを利用する

ピースハウス病院には年間200人を超す患者さんが入院されます。また、入院以外にも外来へ通院される方、退院して在宅療養に移行される方もおられます。
ここでは電話相談から始まるピースハウスのケアの実際をご紹介します。

ピースハウスのケアは電話相談から始まります



はじめてのホスピスへの電話では、いろいろなご心配や不安な様子が伝わって来ます。
そんなお気持ちを察しながらお話しに耳を傾けます。



はじめてピースハウスを訪れます。

「ホスピスってどんなところだろう」

院内を見ていただきながら、病気のこと、これからの療養場所のことなど、今後の具体的な過ごし方について、一緒に話し合います。



ホスピスに通う

まだしばらく家で過ごせる方には、入院はしないでホスピス外来に通う方法があります。家で安心してすごせるようアドバイスします。



通院が難しいときは医師や看護師が訪問し、自宅での療養生活を支えます。



痛みなどの症状が強い時、ご家族が疲れている時など、在宅療養が難しい時には入院をおすすめします。

入院生活はどんなふうでしょうか

痛みやだるさ、不眠など、症状に合わせた薬やケアで体のつらさを和らげます。



おいしく食べられるよう食事を工夫します。



つらさが和らいだら、お風呂です。



さっぱりとしたら中庭でご家族とティータイム、
会話が弾みます。



どこからか聞こえるメロディ。
患者さんと音楽療法士が歌っています。



ホスピスからの退院

症状が和らげば退院も。訪問診療と訪問看護を受け、安心して自宅で過ごすことができます。



やっぱり家がいいですね。



週末に孫が遊びに来るのが楽しみ。



家で過ごすことがむずかしくなった方が再入院。
顔見知りの看護師と再会し、ほっとしたご様子です。

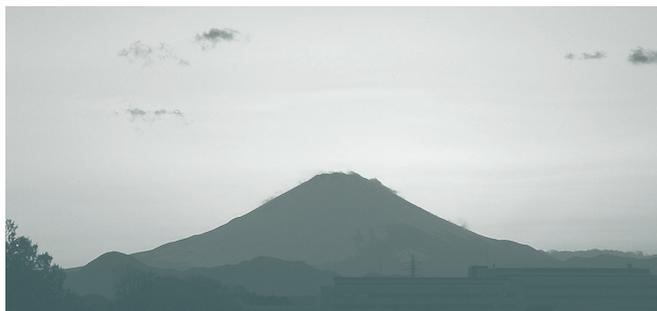


家族の時間

患者さんのそばで家族と一緒に過ごす大切な時間。



大切な方を亡くされて数ヶ月。ケアを受けられた方々をしのぶ会。
さまざまなことが思い出されます。



同じ体験をしたからこそ分かり合えることがあります。
「ピースハウス家族の会」のハイキング。



2010年度ホスピス教育研究所の活動

ピースハウスの2階に位置するホスピス教育研究所は、神奈川県をはじめ全国に向けてのホスピス緩和ケアに関する教育プログラムの提供、院内スタッフ・ボランティアの教育、さらに、国内外の他施設・団体とのネットワーク作りなどを主な業務としています。

また、「日本ホスピス緩和ケア協会」事務局として、年次大会・理事会・専門委員会の開催、全国の緩和ケアの現状調査、講演会の開催、機関紙の発行などを並行して行っています。

ホスピス教育研究所 所長 松島 たつ子

1. ターミナルケア人材育成講座の開催

講座名	期日	日数	講師(所属)	参加者数
ホスピス緩和ケア講座	2010年5月～6月	4	西立野研二(ピースハウス病院院長)他12名	延235
ホスピスセミナー がん患者・家族の直面する課題の理解と継続ケア	2010年9月	1	渡邊眞理(神奈川県立がんセンター 看護局長)	58
ホスピスセミナー がん患者の家族へのケア ー精神腫瘍医の立場からー	2010年10月	1	大西秀樹(埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科 教授)	55
ホスピスセミナー がんの終末期における症状マネジメント ー苦痛緩和のための鎮静と今後の課題ー	2010年11月	1	池永昌之(淀川キリスト教病院ホスピス部長)	81
ホスピスセミナー 対応の難しいがん患者のケア ーリエゾン精神看護の視点からー	2011年3月	1	川名典子(杏林大学医学部附属病院 リエゾン精神看護師)	69
春期ボランティア養成講座	2010年5月～7月	6	志村靖雄(ピースハウス病院ボランティアコーディネーター)他7名	14
秋期ボランティア養成講座	2010年10月～2011年1月	6	志村靖雄(ピースハウス病院ボランティアコーディネーター)他7名	9
ボランティアアドバンス講座	2010年4月～2011年3月	5	永井照代(あいちホスピス研究会 会長)他7名	延192
ホスピス公開セミナー (対象:ホスピスケアに関心を持つ個人など)	2010年5月～2011年2月	7	瀬戸ひとみ(ピースハウス病院がん性疼痛看護認定看護師)	延151
ホスピス公開セミナー (対象:民生委員, ボランティア団体など)	2010年5月～2011年2月	13	鈴木千介(ピースハウス病院顧問)他3名	延231

2. 第18回ホスピス国際ワークショップの開催

開催日: 2011年2月5日～6日

開催場所: ホスピス教育研究所

テーマ: ホスピス緩和ケアの提供とケアを提供する人々ー英国・カナダ・日本の交流ー

参加人数: 94名

講師:

・ Bee Leng Wee, M.D.

Consultant, Senior Clinical Lecture in Palliative Medicine, Head of Palliative Care Research and Development, Sir Michael Sobell House & Nuffield Department of Medicine, Oxford Radcliffe Hospitals NHS trust & Oxford University



ホスピス国際ワークショップの Bee Leng Wee (左), Beverly F. Spring (中), 木澤義之の各講師

・ Beverly F. Spring, M.D.

Medical Director, the Vancouver Home Hospice Palliative Care Service & Physician, the Vancouver General Hospital Palliative Care Programme

・ 木澤 義之

筑波大学大学院人間総合科学研究科講師

内 容：

- ・進行した病とともに生きる－緩和的取り組み－
- ・身体症状マネジメント
- ・苦しみ－緩和ケアから得た教訓－
- ・緩和ケアシステム－英国・カナダ・日本－
- ・いろいろな場におけるケア提供
- ・ビデオ上映「いのちの光のうちで」
- ・ケア提供者としての成長

3. 研修生の受け入れ

- ① 医師のためのホスピス緩和ケア研修（計5名）
東京医療センター 医師（4）、元国立がんセンター
医師（1）
- ② 日本看護協会「ナースのためのホスピス緩和ケア
研修」（計11名）
公立八女総合病院（1）、上尾甕生病院（1）、草
加西部クリニック（1）、愛和病院（1）、姫路聖
マリア病院（1）、愛和病院訪問看護ステーション
愛和（1）、東邦大学医療センター大森病院（1）、
倉敷第一病院（1）、ケアタウン小平訪問看護ス
テーション（1）、熊本大学医学部附属病院（1）、
あおぞらクリニック（1）
- ③ 神奈川県看護協会「緩和ケア認定看護師教育課程」
臨床研修（計4名）
昭和大学病院（1）、たんぼぼクリニック（1）、
川崎社会保険病院（1）、自衛隊中央病院（1）
- ④ 医学生のためのホスピス研修（10名）
東海大学医学部（10）
- ⑤ 看護大学院生のためのホスピス研修（1名）
自治医科大学大学院看護学研究科（1）
- ⑥ ホスピス体験実習（計15名）
神奈川県立七里ヶ浜高等学校（7）、神奈川県立秦
野曾屋高等学校（4）、ルーテル学院大学（1）、
東京薬科大学（1）、昭和薬科大学（1）、早稲田
大学人間科学学術院（1）

4. ピースハウス見学者への対応 33件 295名

主な見学団体

韓国 福音総合病院、オーストラリア グランピア
ン地域緩和ケアチーム、社会福祉法人日本医療伝
道会 衣笠病院、相模原協同病院、栃木県看護部長
会、横浜創英短期大学、NHK 厚生文化事業団、
テルモ研究開発センター、大成建設（株）、環境デ
ザイン研究所、神奈川県医療社会事業協会 など

5. 研究会の開催

① 事例検討会

期 間：2010年4月～2011年3月（10回）

主なテーマ

- ・ALSの終末期にある患者へのホスピスケアの適応
- ・病状が急激に変化していく患者の家族へのケア
- ・吐きながらも食事を希望する患者と関わって
－揺れ動く患者の思いに私達はどうか関わるか－
- ・家族・介護者への情報開示を拒んだまま在宅死を
迎えた後天性免疫不全症候群の一例

- ・患者の意志と家族の思いの間での看護師のジレンマ
延参加人数：224名

② ホスピスケア研究会

期 間：2010年5月～2011年2月（8回）

主なテーマ

- ・対話力
- ・子供に死を伝える
- ・あなたにとって“QOL”とは

延参加人数：55名

③ Study Day 症状マネジメントを学ぶ

期 間：2010年5月～2011年2月（5回）

主なテーマ

- ・オピオイドローテーション
- ・褥瘡－これで作らない！みんなの褥瘡ケア－
- ・終末期にもできるリンパ浮腫のケア
- ・口腔ケア実践の基本技術

延参加人数：68名

④ 地域緩和ケア研究会

期 間：2010年4月～2011年1月（5回）

主なテーマ

- ・がんと共に生きる患者・家族への支援
－外来通院、在宅療養患者へのチームによるケア－
- ・がんの治療から緩和ケアへ
－大学病院からホスピスに移行するとき－
- ・高齢者緩和ケア
－高齢者ケアの現状と今後の展望－
- ・病状の進行、そして終末期ケア
－緩和ケア病棟で過ごす患者・家族へのケア－
- ・在宅における看取りと死別後のケア

延参加人数：311名

⑤ 高齢者ケア部会

期 間：2010年7月～2011年2月（4回）

主なテーマ

- ・認知症サポーターの取り組みについて
- ・あなたならどうする？
－認知症利用者の初回相談－

延参加人数：101名

6. 図書・文献整備

購入図書 15冊

定期購読雑誌 13誌（洋雑誌7誌・和雑誌6誌）

7. 研究所会員制度

（図書貸出、文献検索サービスなど）

会員数 21名（医師10名、看護師7名、ソーシャ
ルワーカー2名、大学教職1名、その他1名）

8. 機関誌発行

ピースハウス活動報告（ふれんず Issue No.16）

4,500部

ピースハウスを支える活動

◆ボランティアをする

あなたの大切な時間と能力を、より良いホスピスケアのために提供していただけませんか。

ピースハウスでは約100名のボランティアがケアチームの一員として活動しています。ボランティアをする方は、毎年春と秋に開催されるボランティア養成講座を受講し修了証を手にしていただきます。

活動は、週1日（10：00～17：00）予め約束した曜日に無償で奉仕していただくことが原則です。

おもな活動内容

- 1) ホスピスにおける患者・家族の暮らしを支える活動
内外の環境整備・看護補助・アートプログラム開催・ティータイムサービスなど
- 2) 専門的にかかわる特技ボランティア
シャトルバス運転・マッサージ・美容・園芸・営繕など



◆院外から支援する

あなたのあなたらしい方法でご支援いただけると幸いです。

ボランティアとして直接チームケアにはかかわれないが、外部から間接的に支援してくださるグループまたは個人の活動があります。下記にいくつかご紹介します。



- * LPC ホスピスサポートチーム：会員の寄付金やイベント、書籍販売などの収益金でシャトルバスの購入や運行を支援
- * 府中はなみずき：バザーで活動資金を作って、手作りの介護用品や備品を提供
- * 姫由美子コンサート：チャリティコンサートを開催、収益を寄付

その他、ふれんずショップ（ボランティアショップ）への手作り品の提供、介護用古布の提供、イベントへの参加など、数え切れないほどの善意の方々やグループからご支援を頂いています。

◆お金を寄付する

あなたのお金が日本のホスピスケアのモデルとなるピースハウスの活動を実現します。

これまで多くの皆様のご支援により、1993年、ピースハウス病院とホスピス教育研究所を開設し、1999年に訪問看護ステーション中井、2010年にはピースクリニック中井を開設することができました。病気をもちながらも自分らしく生きる患者さんとそのご家族が、希望する場所で、質の高いケアを継続的に受ける。このような活動をさらに充実させていくためには、皆様方のお力添えが必要です。あたたかいご協力をお待ちしています。

1. 寄付の種類

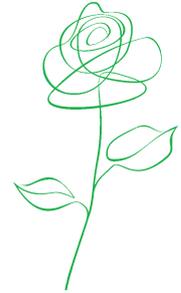
1) 継続的な寄付

「ピースハウス友の会」の会員となって、継続的にご支援いただく方法です。これは年会費という形で毎年寄付を継続してくださる方々の会で、次の4種類があります。

さくら会員	1万円
ばら会員	3万円
はなみずき会員	5万円
かとれあ会員	10万円以上

* 会員の種別は毎年ご自由にお選びいただけます。

* 1年に一度、ピースハウス病院の活動のご報告をお送りするとともに、会員継続のご意向についてお伺いいたします。



2) 随時の寄付

時期を特定せず、任意の金額を提供していただく方法です。

2. 寄付の方法

ご寄付いただける場合は、下記までお振込みください。お手数ですが、振込みに際しましては、通信欄に「〇〇会員」か「随時の寄付」かをご記入ください。

[振込先]	郵便振替口座 00130-6-407939
	加入者名 (財)ライフ・プランニング・センター ピースハウス募金口

ピースハウスを支える活動については下記にお問い合わせ下さい。

TEL : 0465-81-8900 FAX : 0465-81-5520

E-mail : ph_voco@yahoo.co.jp

担当 : ボランティアコーディネーター 志村 靖雄

2010年度収支報告

2010年度の入院患者は226名、延べ6,513人、1日当たり平均在院患者数は17.8人、平均ベッド稼働率は81.1%でした。

経常収入	344,211 千円
経常支出	361,585
当期経常収支差額	▲17,374
寄付金・会費収入	15,014
当期収支差額	▲2,360 千円

寄付報告

運営のためのご寄付	110件	11,744 千円
友の会会費	169件	3,270 千円
さくら会員	128件	1,280 千円
ばら会員	23件	690 千円
はなみずき会員	10件	500 千円
かとれあ会員	8件	800 千円
合計	279件	15,014 千円

入退院状況 (2010年4月～2011年3月)

入退院状況

- (1) 入院患者数 226名, 延べ239名
- (2) 男女別 男115名 女111名
- (3) 平均年齢 71.3歳
- (4) 平均在院日数 27.2日
- (5) 原発疾患

肺	51	胃	21	膵	20
肝・胆道	17	直腸	16	結腸	15
咽喉頭	10	子宮	8	卵巣	7
乳房	7	腎・尿管	7	膀胱	5
前立腺	5	口腔(舌, 歯肉など)	5	食道	4
脳	4	その他	24		

(6) 紹介病院一覧

東海大学医学部付属病院	48
平塚共済病院	21
小田原市立病院	11
平塚市民病院	11
秦野赤十字病院	9
神奈川県立足柄上病院	8
神奈川県立がんセンター	8
東海大学大磯病院	7
神奈川病院	6
伊勢原協同病院	6
ピースクリニック中井	5
北里大学病院	5
聖マリアンナ医科大学附属病院	4
横浜市立大学附属病院	3
鈴木クリニック	3

〈以下 各2件〉

癌研有明病院・けいゆう病院・静岡県立がんセンター・鈴木クリニック・丹羽病院・虎ノ門病院・藤沢市民病院・横浜医療センター・横浜新緑総合病院 (順不同)

〈その他51施設 各1件〉

(7) 神奈川県の内訳

秦野市	45	平塚市	43	横浜市	22
小田原市	21	中郡	15	足柄上郡	12
伊勢原市	10	厚木市	7	南足柄市	7
相模原市	6	藤沢市	4	その他	18

(8) 患者住所分布

神奈川県	210	東京都	9	静岡県他	7
------	-----	-----	---	------	---

施設内容とスタッフ

病床数・形態

届出緩和ケア病床 (個室14室, 4床室2室), 独立型 (2階建, 1階病棟, 2階ホスピス教育研究所)

スタッフ

専任医師4名, 看護師22名, 看護助手4名, 病棟事務1名, 薬剤師2名, MSW1名, チャプレン1名, 音楽療法士1名, 管理栄養士2名, キッチンスタッフ5名, 事務員4名, ハウスキーパー7名, ボランティアコーディネーター1名, ボランティア96名, 運転スタッフ3名, 教育研究所5名

看護体制

7:1
プライマリーナーシング (受持ち制)

総面積

敷地面積: 13,053㎡ 建築面積: 1,989㎡
延床面積: 3,422㎡ 個室面積: 20~23㎡
差額ベッド代 個室以外は無料, 個室1日
18,900円 (税込み)

交通

小田急線秦野駅・JR 東海道線二宮駅よりいずれも車で15分
2駅と病院間に定時のシャトルバス有り

ホスピスケアを受けるために

ピースハウス病院は、主に治癒が困難ながんの患者さんとご家族に、ホスピス緩和ケアを提供する病院です。入院によるケアだけでなく、外来診療、また、ピースクリニック中井・訪問看護ステーションと協力して、在宅ホスピスケアも行なっています。

ケア開始にあたり、ホスピス緩和ケアについてご理解頂くことと、患者さんの現在のご様子について事前に把握させて頂くため、患者さんやご家族と面談の機会を設けております。

相談の窓口

ピースハウス病院では、下記の相談についての相談窓口を設けています。

1. 入院に関する相談
2. 外来や訪問診療に関する相談
3. ホスピスに関する一般的な相談
4. ホスピスケアを受けながらの生活に関する相談

これらの相談窓口は、ソーシャルワーカーや看護師が担当しております。また、ホスピス相談には予約が必要ですので、まずは、電話でご連絡下さい。
電話 0465-81-8900 (代)

相談に必要な医療情報

相談に来院して頂く際には、以下の4点の医療情報が必要です。

1. 診療情報提供書 (各医療機関の用紙)
2. 最近の検査データ (血液・尿検査・感染症・血液型を含む)
3. 現在の症状が判るレントゲンやCTなどの画像情報
4. ホスピスケア判定用質問用紙 (当院様式)

入院までの流れ

相談からケア開始までの流れは以下の通りです。

1. 電話による相談 (ホスピス相談の予約)



2. ホスピス相談



3. ホスピスケア判定会議
(当院スタッフがケアの開始に必要な事柄について検討)



4. ホスピスケアの開始
(入院に関しては、判定会議からケア開始までベッドを待つ期間が生じる場合があります。)

なお、ピースハウス病院では、病名告知は必須条件ではありません。患者さんが治癒困難である病状であることを認識し、ホスピスの趣旨を理解されていれば、ピースハウスでのケアを受けることができます。

入院費用

医療費に関しては健康保険が適用されます。患者さんによって、高額療養費制度や高齢者医療制度が利用できます。また、保険適用外として、差額ベッド代があります。(4人部屋は差額ベッド代なし)

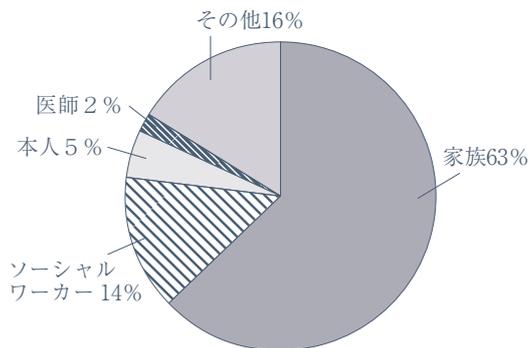
当院に関する情報はインターネットでもご覧頂けます。<http://www.peacehouse.jp/>

2010年度の相談状況

相談件数：940件

内 訳

家 族：	595件	医 師：	18件
ソーシャルワーカー：	129件	そ の 他：	154件
本 人：	44件		





一般財団法人
ライフ・プランニング・センター
ピースハウスホスピス

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
TEL 0465-81-8900 FAX 0465-81-5520
ホームページ <http://www.peacehouse.jp/>